

---

# 魔法少女リリカルなのは～転生者の夢

鉄槌の騎士

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

魔法少女リリカルなのは 転生者の夢

### 【Nコード】

N1804Z

### 【作者名】

鉄槌の騎士

### 【あらすじ】

僕こと「山本 俊輔」は神ではなく墮天使のミスで死んでしまった。しかし僕は転生を選び新しい世界で生きていく……………

原作ブレイクをしてしまう可能性があります。リリカルなのはが大好きでしかたがない方はお引き取りください。

## プロローグ(前書き)

なんかやってしまった気がする。

## プロローグ

### プロローグ

あれ？なんで僕は此処にいるんだろう？

男がいるのは真っ白い部屋にいた。

（回想）

僕こと山本 俊輔はごく普通の社会人だ。仕事は介護職、年齢は23歳、彼女は年齢の分いない。正直今はいらぬ。何故ならアニメが僕の彼女だからだ。

しかし、職場からの帰りに車（日産スカイライン GT R BN R 34）に乗っていたらフロントガラスにひびが入って………そこからの記憶が無い。

「はじめまして。山本 俊輔君。」

何処からか判らないが声がした。

「貴方は誰ですか？」

俊輔は声の主に聞いた。

「私の名は『アポロニアス』だ」

そう言つて現れたのは某アクエリオンの墮天使『アポロニアス』…

………は良いが、『アポロニアス』は急に土下座をした。

「申し訳無い。貴方は死んでしまった。墮天使としてやってはいけないなことをしてしまつた。」

『アポロニアス』は土下座をしながら言い訳をしていた。

「え〜と、『アポロニアス』さん。意味がまつたく判らないのですが………」

俊輔は『アポロニアス』に説明を促した。

「そうだったな……。実はな、本当ならば貴方の後ろの車に弾丸がいくはずだったんだが、私の部下の『カナデ』がな間違えてしまったんだ」

『アポロニアス』は説明をした。

「後ろの車は何ですか？」

俊輔は『アポロニアス』に冷静に聞いた。

「後ろの車は（日産スカイライン GT R BNR 32）だ」

『アポロニアス』は俊輔の質問に答えた。

「は……………？」

俊輔の顔は顔文字で表すと（。；）こんな感じです。

by 鉄槌の騎士

「話しを戻すが、貴方には二つの選択が出来る。ひとつは「天界」に昇るという選択。二つ目は「転生」という選択。貴方がどちらの選択をしようと勝手だが、私としては「転生」して新しい人生を真っ当にしてほしい」

「何と無くわかったが、僕としては、もう決まっています。僕の選択肢は『転生』します」

『アポロニアス』の説明を聞き、俊輔自体ももう一度人生をやり直したいと思っていた。

「わかった。墮天使として過ち自体を否定しないし私にも責任がある。ということとで貴方に転生先を決めて欲しい。リストはこれだ」

『アポロニアス』は俊輔に一枚の用紙を渡した。

（転生先リスト）

一、魔法少女リリカルなのは

二、インフィニット・ストラトス

三、ガンダムSEED

四、まよチキ

以上

by 鉄槌の騎士

「この四つの中で行きたい世界はあるか？」

『アポロニアス』は俊輔に聞いた。

「僕に行きたい世界は『魔法少女リリカルなのは』です」

俊輔は一度行ってみたい世界は前世から決まっていたので迷わなかった。

「そうか………わかった。では次に能力を決めてくれ」

そう言つて『アポロニアス』は一枚の白紙の用紙を渡した。

迷わず、俊輔はすらすらと書きはじめた。

〈能力リスト〉

一、魔力はEXランク

二、デバイスはユニゾンデバイス、アームドデバイスの二つ

三、バリアジャケットはFateのセイバーの甲冑スカートはスポン

四、知っているアニメ、ラノベ、マンガの能力が使えること

五、生活が出来るところがある

六、容姿はキラヤマト

七、転生後も『アポロニアス』と会話ができること

以上

「この七つで良いんだな。わかった。次にデバイスについての設定だが、希望を教えてください」

『アポロニアス』はデバイス設定をするために俊輔の希望を聞いた。「デバイスの形は多種多様で、待機状態は某ガンダムSEEDのフリーダム（片方）で、ユニゾンデバイスは某マクロスランカ・リーをお願いします」

俊輔はデバイスの形を決め『アポロニアス』に頼んだ。

俊輔は、ひとつの扉の前で立ち止まった。

「『アポロニアス』、無茶なことを言っただけじゃなかった。僕は行くよ」

いまでは俊輔は『アポロニアス』のことを呼び捨てにしていた。

「そうか。しかしまったく無茶な願いではなかったぞ。あと、ついでに時間的に無印の始まるまで時間はたっぷりある。楽しく生きよ、山本 俊輔」

『アポロニアス』はそう言って消えた。

（転生の扉）

「さて、行きますか、シャルロット、ランカ」

俊輔はデバイスに話しかけた。

「はい、俊輔」

インテリアエージェントデバイスのシャルロット。

「うん、俊輔君」

ユニゾンデバイスのランカ。

俊輔とシャルロット、ランカは転生の扉をくぐった。



## プロローグ（後書き）

大丈夫か？俺。次回は主人公設定などをします。

## 設定（前書き）

設定です。誰か技を教えてください。

## 設定

主人公設定

名前

山本 俊輔

年齢

9 歳

容姿

キラ・ヤマト

身長

1 3 2 c m

体重

2 1 k g

性格

人を弄るのが大好き

普通は大人しい

怒ると周りが見えなくなる

その他

前世の記憶はないが、墮天使やアニメ等は覚えている

墮天使自体も身の覚えがないがレアスキル持ち

レアスキル

次元の扉

物を入れることができる。生物も大丈夫になっている。

能力

主人公（作者）が知っているアニメ、ラノベ、マンガは使用が可能

使用可能なアニメ

インフィニットストラトス

Angel Beats!

ストライクウィッチーズ

とある科学の超電<sup>レールガン</sup>滋砲

灼眼のシャナ

遊戯王

Fate

ポケットモンスター

デバイス設定

種類

インテリアジエントデバイス

名前

シャルロット

待機状態

フリーダムの羽（片方）

術式

ベルカ式

カートリッジシステムあり

形態

日本刀、槍、銃、小刀、盾

説明

AIは「インフィニットストラトス」のシャルロットそのまま。俊輔の名前は呼び捨てにしている。

種類

ユニゾンデバイス

名前

ランカ

容姿

ランカそのまま（小さくなくても同じ）

身長

156cm

（小さい時）36cm

体重

言ったらダメ！

スリーサイズ 言ったらダメ！

術式

ベルカ式

性格

「マクロスフロンティア」のランカそのまんまで俊輔のことは君付けで呼んでいる

レアスキル

ドラグーン (ユニゾン時も使用可能)

設定（後書き）

しんごい

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1804z/>

---

魔法少女リリカルなのは～転生者の夢

2011年12月6日21時58分発行